

八名川小学校

学校だより

第366号／平成27年度 6月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

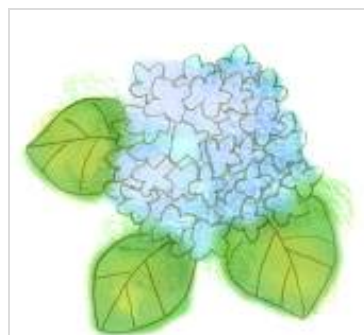
江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

おまたせしました あじさい通り

校長 手島 利夫



学校の北側通学路にあじさいが咲き始めました。

『お待たせしました。八名川小のあじさい通り・・・

皆さんでお楽しみください』という小さな看板も出ました。

八名川ファミリー（東京都地域学校支援本部事業）のボランティア、『お花の会』の皆さんが、数年前から挿し木で苗を作り、丹精込めて育ててくださったものです。去年はこの道を歩く方々が立ち止まってスマートフォン等で写真を撮ったり、誰かに送信したり、地域の方々にも楽しんでいただくことができました。

「学校の北側は土も悪くて、掘るとがれきばかり出てくるし、日当たりも弱いから花の栽培はあきらめていたのです。でも、あじさいならば季節感もあるし、子どもたちも楽しんでくれそうだと思って増やしてきました。」という思いから生まれたあじさい通りです。花を切り取る方に向けても、『とらないでください』よりも『ご相談ください』という姿勢は、「お花好きどうしですから」と、大らかなものです。このような気持ちで地域から子どもたちを見守ってくださっている方々がいらっしゃるの、八名川小ならではの心強い限りです。

子どもたちの成長を皆さんで感じてください



いよいよ6月7日（日）は、八名川小学校の運動会です。ご家庭・地域の協力をいただきながら練習を進めてまいりました。多くの皆様にご来校いただき、子どもたちのがんばる姿に大きな声援をいただけたらと思っております。

年々お天気の不安定さが増しています。**熱中症対策や、紫外線対策が必要**かもしれませんし、天候の急変への備えも必要になってきました。小さな水筒の場合は演技の合間に補給していただくなど、ご配慮をお願いします。

また昼食時間帯の日蔭対策として例年体育館の開放をしてきましたが、今年はお年寄りとその介護者のために図書室もお使いいただこうかと考慮中です。限られたスペースですので、譲り合ってお使いいただけるようでしたら、来年以降も続けたいと考えます。

子どもたちの健康・成長を考え、皆様と力を合わせて素敵な運動会にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

婚され、泉先生と姓が変わりました。

八名川小学校

学校だより

第365号／平成27年度 5月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

交通事故から命を守る

校長 手島 利夫

P T Aの皆様には、4月当初より登校時の交通安全指導や、班毎の安全登校に様々なご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで八名川小学校の子どもたちは、皆、元気で仲良く新年度をスタートすることができました。

4月24日には深川警察署のご協力をいただき、5・6年生への交通安全指導をするとともに1・2年生には、グループ毎に新大橋通りを実際に横断して学校に戻るという実践型の指導も行いました。

青信号で横断中にもかかわらず、後方から来た左折車による巻き込み死亡事故も多くなっております。従来の『右・左・右』の際に、『右・左・**右後ろも**』確認するように助言してみました。低学年の児童にあまり多くのことを言っても身につきませんが、ご家族の中で声かけしていただき、事故のない生活をご一緒に創ってまいりたいと思います。

自転車安全教室は、本年度から3年生にまで学年を下げて、5月12日（火）5・6校時に3・4年生に指導します。こちらもよろしくお願いいたします。

足元からの国際交流

4月24日（金）、本校6年児童62名は、清澄白河にある『Kーインターナショナル・スクール』を訪問しました。小学校卒業（6月中旬）前の学習の仕上げの発表会に本校児童も招いていただいたというわけです。

クレイ ブラッドリー初等部副校長先生をはじめ、先生方や生徒さんに温かく迎えていただきながら見学させていただきました。

3～4人のグループ毎にパネル2枚程のコーナーを作り、体育館一杯に様々なテーマで発表を繰り広げています。模造紙に何かを書いて貼っただけ等という発表は一つもありません。パソコンで調べただけの発表もありません。必ず自分の足で取材し、人とふれ合いながら、体験を通して学んできたことがベースにあることが、彼らの自信になっているのでしょうか。迫力あるコーナーがたくさんあり、回りきれない程です。「八名川の子たちが来てくれる！」ということで、日本語で説明できるように、新たな原稿を用意したお子さんも大勢います。

同じ小学生同士で学び合い、発信したり、受け止め合ったり、豊かな交流ができていることは、本校児童の今後の学習にとって、大きな刺激になったように思います。

子ども自身が問題意識を持って学ぶ八名川小学校にとって、このような相互の学び合いの中から、新たなステージが広がるように感じた1日でした。

八名川小学校

学校だより

第364号／平成27年度 4月号

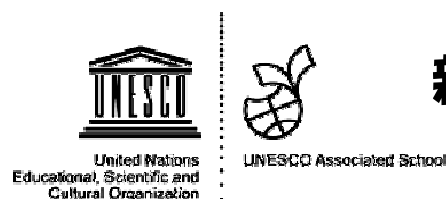
ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260



新たな100年への助走

校長 手島 利夫

保護者の皆様、お子様のご入学、そしてご進級、おめでとうございます。

新一年生66名を迎え、全校児童368名、12学級で平成27年度が始まりました。

本年度、八名川小学校は開校99年目の年を迎えました。次年度の100周年から新たな100年への助走の年として、世界や持続可能な未来を視野に入れつつも、地域に根ざした教育の充実を図ってまいります。具体的には、

- ・**元気なあいさつ八名川スマイル** を基盤とした創造的なコミュニケーション能力の育成
- ・「**子どもの学びに火をつける**」を合い言葉にした**主体的な学習の実現**
- ・**発見・感動・創造の俳句教育**
- ・**保護者・地域・専門家との連携**

等を目指して取り組みます。

また、これらの教育活動は、環境・人権・多文化理解等の視点から教科横断的で探究的な教育課程の実現に取り組むユネスコスクール活動、東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校、並びに江東区教育委員会教育課題研究校としての「俳句教育」とも連動させながら進めてまいります。

地域の皆様、同窓会や八名川ファミリーの皆様、PTAを中心とした保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、地域社会の未来の担い手を育んでいけること、幸せに思っております。

本年度も、濱方弥生副校長をはじめとして職員の定期異動がありました。本校教育の充実・発展にご尽力いただいた教職員の皆様に感謝しつつ、お知らせいたします。また、新たな職員を迎え「チーム・YANAGAWA」として、子どもたちやこの町のために一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

八名川小学校 学校だより

第363号／平成26年度3月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

人間愛に溢れた学校

校長 手島 利夫

2月27日（金）の3校時に、『6年生を送る会』が開催されました。これは代表委員会の5年生が中心になって、全校で行う『子どもたちによる子どもたちのための卒業式』とも言えるべきものです。

各学年が歌ったり、演奏したり、挨拶やパフォーマンスをしたり、楽しい中にも、しっとりと思い出に深く残る行事なのです。

姉妹校として23日から来校していたインドネシアのアルヒダヤ グリーンスクールのソニ校長先生は、子どもたちの明るくけなげな姿に、会の途中から胸がいっぱいになってしまったらしく、涙をぬぐい続けていらっしゃいました。

「八名川小学校は、先生方も子どもたちも、学校中に人間愛が溢れた素晴らしい学校です。このような学校と姉妹校になれたのは、私たちの誇りです。もっともっと学んで、八名川小のような教育をインドネシア中に広めるという夢が生まれました。これからも仲良くしてください。」と語ってくださいました。

言葉は通じなくても、子どもたちの態度や歌声などは、人の心に伝わるという事を実感した瞬間でした。

インドネシアのユネスコ国内委員会の補佐官イブ・サンティさんは、「インドネシア文部省として、今回の訪問に大きな成果を感じています。八名川小学校の開発された『ESDカレンダー』を中心とした教育は、グリーンスクールだけでなく、インドネシアの全国に広めてまいります。また、日本と協力して世界にも広めていきたいです。インドネシア政府として八名川小学校の皆様に心から感謝しております。トゥリマ カシ バニャ（どうもありがとうございます）」とお言葉をくださいました。

一雨毎に桜のつぼみもふくらむ頃です。1年生から6年生までが、それぞれの取り組みを精一杯に重ねて、心も体も成長してまいりました。次の学年、あるいは中学校での一層の成長・活躍が期待されます。

今年度も子どもたちや学校教育を支えてくださった地域の皆様、同窓会・八名川ファミリーの皆様にご感謝いたしております。また、私どもの取り組みを温かくご理解いただき、様々なご協力をくださっているPTA並びに保護者の皆様に心よりお礼申し上げて、26年度末のご挨拶といたします。

八名川小学校 学校だより

第362号／平成26年度2月号

八名川小学校ホームページアドレス

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

ユネスコスクール

江東区立八名川小学校

TEL 3631-2260

100周年に向けて

校長 手島 利夫

八名川小学校は、4月から99周年目に入ります。1年半後の100周年記念式典や祝賀行事等に向けて、地域の町会長様方・同窓会々長様・八名川ファミリー会長様・PTA役員の皆様にお集まりいただき、100周年準備委員会を立ち上げました。八名川小学校100周年を祝う会々長としては、常盤二丁目町会長の阿部誠様にお引き受けいただけることになりました。

今後、地域の皆様、同窓会の皆様、八名川ファミリーの皆様、PTAの皆様の協力添えをいただきながらご準備を進めていただけることと思います。お世話をおかけしますが、これを機に、八名川地域の未来を創る学校として、教育の充実に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

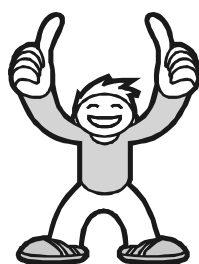
「自ら発信・八名川まつり！」

1月21日に行われた八名川まつりには多くの保護者の皆様、そして、神明幼稚園を含め地域の皆様方のご来校をいただき、ありがとうございました。おかげさまで大勢のお客様に向かって、子ども達が日頃の学習成果を活かし、楽しく有意義な発信をすることができました。

発信するためには深い学びも必要です。また、それに対する自らの意見や提言も求められます。相手を心から納得させるには「私はこうしてみた・こうしてみる」という実践も必要です。そして、何よりも相手と向き合い伝え合うコミュニケーション能力も求められます。

皆様方のご参観・ご参画のおかげで、本校の児童にはこのような力がどんどん育っております。当日参観された大牟田市や彦根市、岡山市、狛江市等々の先生方からも、児童の明るさとたくましい発信力が高く評価されていました。

2月7日（土）は、本年度最後の学校公開と『ESDパワーアップ交流会』の開催日です。この一年間でたくましく成長したお子様の姿をご覧ください。そして、『新しい時代を創る教育のありかた』から見た本校の教育の進め方について一緒に考えたいと思います。



「ESD パワーアップ交流会」にご参加ください。

ユネスコスクールにおける教育の1年間のまとめとして、「ESDパワーアップ交流会」を開催いたします。本校の教育方針を伝え、実践報告することはもちろんのこと、全国より参加される多数の学校が「ESD（持続可能な開発のための教育）」の活動を紹介いたします。本校の教育について考え、来年度以降、よりよい学校づくりを行う機会にしたいと思います。

日時：2月7日（土）13:30～16:30（受付13:00～）

第1部（13:40～15:10）：各校による事例発表、質疑応答

第2部（15:15～16:30）：講演 シンポジウム

講演 東京大学大学院准教授 北村友人先生

※地域の皆様は、当日直接受け付けまでお越しください。

八名川小学校 学校だより

第361号／平成26年度1月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

「八名川は私の誇りです」

校長 手島利夫

明けましておめでとうございます。旧年中は、保護者や地域の皆様に支えられて教育活動を進めることができました。ありがとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

保護者の皆様からいただいた賀状の中に「八名川小は私の誇りです。」「素晴らしい教育をしていただきまして、ありがとうございます。日本がこれからの道を模索するなかで、八名川教育実践は希望の光と感じます。」「卒業してなお、八名川小学校を誇りに思えることがとても嬉しいです。」「今年も学校の子どもたちのためにがんばります。」など、心にしみる言葉をたくさんいただき、感激しております。

このようなお気持ちで学校や子どもたちの成長を見てくださっている皆様のおかげで、職員も誇りをもって子どもたちのために精一杯の努力ができるのではないかと思います。また、その循環が子どもたちの大きな成長に結びつき本校の良さを創っているようにも思うのです。

皆様方の思いや願いを大切にしながら、皆様方と一緒に教育活動に取り組んでまいりたいと思います。そこで、1月中に保護者の皆様に学校教育活動を評価していただくアンケート調査を行いたいと計画しております。お手数をおかけしますが、ご協力いただけますようお願いいたします。

インドネシアの小学校と姉妹校に

アジアの親日国、インドネシア共和国のユネスコ・ナショナルコーディネーターNoor Endah Mochtar 様を通じて、本校とアルヒダヤグリーンスクールの姉妹校提携の話が進んでおります。

Noor Endah Mochtar 様は、平成25年12月にご来校された時から本校の教育理念や教育方法あるいは本校児童の学びに深く共鳴されました。昨年10月には同校の先生も含めた自国の小・中・高等学校の8名の教員たちを連れて再び来校され、研究授業にも参加し、ESDという学びの視点を通じた交流を進めてまいりました。

また、今回の話を進めるにあたっては、インドネシアのパンチェシラ大学で法律の教鞭をとられ、日本にあるインドネシア大使館の法律顧問もされている、森下にお住まいの春名尋子様にもお力添えをいただいております。春名様には昨年度より、本校6年生の総合的な学習の時間「世界の平和と日本の役割を考える」において授業にご協力いただいております。正式な決定になり次第、またお知らせいたしますが、姉妹校提携が児童の知的好奇心を高め、グローバルな視野から学びを進められるよう期待しております。

八名川小学校

第360号／平成26年度 12月号

八名川小学校ホームページアドレス

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

学校だより

ユネスコスクール

江東区立八名川小学校

TEL 3631-2260

様々な行事は成長・飛躍のチャンス！

校長 手島 利夫

学芸会の開催までには、保護者の皆様に様々なご協力をいただいております。また、お忙しい中にもかかわらずご来校・ご参観いただき、児童への励ましを賜りますこと、ありがとうございます。劇や、個々の演技の出来もさることながら、子どもたちが力を合わせ、一つの劇に取り組もうとし、それらの取り組みの中でどのような成長がみられるのかに注目して指導を進めてまいりました。

子どもの成長は、決して右肩上がりの直線的なものではないように思えます。むしろ、何かをきっかけに、自信を深めたり、誇りを感じたりしながら飛躍的に、あるいは、ぱっと花開くように成長することが多いように感じます。今回の学芸会も、皆様方の励ましの中、子どもたちにとって、大きな飛躍への契機になることを願っております。学芸会のアンケート等からお子様たちの成長ぶりが伝わってくるのを楽しみにしております。

6年生の交流(深川小、K-インターナショナル)が広がる！

10月7日(木)、「江戸・深川の歴史を学び、この町を語ろう」という学習を進めてきた6年生は、体育館・教室・パソコン室等を使って、学習発表会を行いました。

この日の発表会には、保護者の皆様や5年生だけでなく、お隣の**深川小学校6年児童の皆さん**約60名も参加してくれました。「実際に猪牙船に乗って調べてきたなんてすごいと思いました。」「ダンボールで模型を作ってわかりやすかったです。」などの感想も寄せてもらいました。お隣同士、同じ町に暮らし、歴史を共有する仲間として、学習を通じた交流ができたことは、本校にとっても画期的なことだと思います。(この日の様子は、11月12日NHK総合テレビ

「情報まるごと」で放送されました) また、11月19日(水)には清澄白河の**K-インターナショナル・スクール**との交流会も開かれました。

名刺交換ゲームでは、Kの子どもたちは「わたしは、〇〇といいます。〇〇人です。好きなことは・・・」などと日本語で自己紹介し、八名川の子どもたちは「My name is 〇〇. I like 〇〇.」などと、英語での紹介が進みました。手作りの名刺がたくさん集まり、自己紹介にも慣れた頃、「ダルマさんが転んだ」のゲームで一緒に遊びました。

次回は12月3日(水)に計画中です。



名刺交換にも、お互いに緊張しなくなりました。

八名川小学校 学校だより

第359号／平成26年度 11月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

学校公開・ミニ音楽会へのご参加に感謝！

校長 手島 利夫

一週間続いた学校公開が昨日で終わりました。この間、ミニ音楽会も含めて多くの皆様にご来校・ご参観いただき、児童への励ましを賜りましたこと、ありがとうございました。

特に、ミニ音楽会では皆様方の励ましの中、子どもたちが全力を出し切って歌い、演奏する姿をお届できたことは、うれしい限りであります。全校児童数が373名と、増加していることもあり、ご覧になりにくかったことと思いますが、皆さんで場所を譲り合うなど、様々なご協力をいただいたこと、感謝しております。次年度には音楽会のあり方を一層工夫してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

八名川小の教育を国内外に発信！

10月8日の参議院予算委員会で、本校の教育や、本校が進めているESD【持続可能な未来のための教育】（意識）の推進について、質問がありました。下村文部科学大臣は八名川小学校の取り組みや、ESDカレンダーについて、たいへんおほめ下さり、ESDカレンダーはユネスコスクールに限らず、全国の小中学校に広めていくことをお約束されました。

（詳細は国会中継→参議院予算委員会→10月8日でご検索を）



NHK総合テレビ画面より

10月16日（木）BSテレビ朝日のテイバン・タイムズの取材があり、4年生の車いす体験学習にハマカーンのお二人がESDに関する取材で参加されました。この様子は、11月2日（日）午前11時～12時に同局で放送されます。

この様子は同時に毎日小学生新聞社も取材しており、11月3日の同新聞に掲載されます。

10月17日（金）には、インドネシアのユネスコ国内委員会の方々約10名のご訪問も受け入れました。3年生の学習の様子をご覧いただきました。



取材中のハマカーンのお二人

10月20日（月）にはNHKの教育番組コンクールの招きで、本校に世界21の国と地域から36名の教育番組審査委員さん方が来校されました。全校での歓迎集会を楽しまれ、その後、5年生児童の地球温暖化に関する発表に参加され、発表を聞くだけでなく、児童と意見の交流をしたり自国の取り組みについて、説明してくれたり、実り多い交流ができました。この訪問の様子は、11月2日（日）の午前11時～11時54分までの総合テレビ「NHKとっておきサンデー」の中で、少しだけ紹介されるとのことです。



5年生の発表に聞き入る海外からのお客様たち

11月6日（木）～8日（土）には、ユネスコスクール世界大会・全国大会が開催されます。本校の事例は、国内の優良事例として岡山大学の体育館で同時通訳付きで、1時間30分の発表の機会が与えられております。本校からは研究主任の吉岡佐登美主幹が6年での取り組み「江戸・深川の歴史を調べてこの町を語ろう」を例に発表いたします。

また、11月10日から名古屋で開催される閣僚級会合を含む1000人規模のESD世界会議では、日本政府の展示パネルに本校のESDカレンダーが紹介されることにもなりました。いよいよ大きく世界発信です。

これらの機会を通じて、児童や職員に自校の学び・教育に自信と誇りをもたせたいものです。

八名川小学校 学校だより

第358号／平成26年度 10月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

参観から参画へ

校長 手島利夫

9月1日の大震災を想定した引き渡し訓練の日に、心の底から驚いたことがありました。

今回の訓練では気象条件等を考え、各教室で児童は待機していることとしました。時間までにお集まりいただいた保護者の皆様には体育館で待っていただき、そこで引き取りの進め方や校内における人の流れ等についてご説明をする予定でした。

次々に集まる皆さんにお伝えするためのマイクも用意しました。しかし、体育館に行ってみると、百数十名もの保護者の皆様が、自主的に整然と並んで待っていてくださったのです。しかも、話し声一つ無しに。

このような光景は、38年間の教員人生で初めて出会ったものでした。

その後の各教室での引き取りも全く整然と進み、子どもたちに日頃から指導している「**お**（おさない）**か**（かけださない）**し**（しゃべらない）**も**（もどらない）」を大人たちが素晴らしいお手本として示してくださったのです。

これは保護者の皆様が、学校教育の傍観者・参観者から、学校教育への参画者として、高い意識をもって「子どもは学校・家庭・地域で育てるもの」という姿勢を保護者全員の行動を通して見せてくださったのだと感謝しております。

このような保護者に支えられて、どのような教育実践を進めていかれるのか、改めて学校の責任を自覚する一日となりました。

科学未来館でESDフェスタに協力

9月20日（土）日本科学未来館で行われたESDフェスタ2014への協力を求められ、**シンガーソングライターの白井貴子さんの**歌に合わせて本校児童がユネスコスクールの子どもの代表して見事なダンスを披露し、絶賛をいただきました。



ESDメッセージソングで踊る子どもたち

八名川小学校

学校だより

第357号／平成26年度 9月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

世界に向けた発信

校長 手島利夫

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が戻ってきました。

地域での納涼大会や西部連合キャンプ、PTAのラジオ体操やラストサマーキャンプあるいは、臨海学校や水泳指導、またご家庭での様々なふれ合いなどを通じた成長を感じます。ありがとうございました。学校でも一層充実した指導を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

産休に入った片岡主任教諭、宮林教諭、退職した藤岡教諭に代わり、2年2組担任に牧田珠己教諭、音楽に室大地教諭、算数少人数指導に小^{まき}新祐介教諭を迎えました。新しい職員も含め、全校で力を合わせて児童の教育に取り組んでまいります。

さて、11月に日本で開催されるESD世界会議・ユネスコスクール全国大会では、毎年6年生が積み重ねてきた実践、「江戸・深川の昔を調べ、この町を語ろう」が、日本の優良事例として発信されることになりました。

8月18日付で毎日新聞朝刊第11面に掲載された「ユネスコスクールはいま」（別刷り配布）も含め、本校の教育実践について、下記のように様々な形で発信されております。お時間のあるときに、本校ホームページ「ESDの取り組みについてのお知らせ」からご覧ください。

- ・ユネスコスクールはいま、毎日新聞26, 8, 18
- ・为了可持续发展的教育 The Japan Journal 2014 08 中国語版
- ・The Japan Journal AUGUST2014 Learning to Live Sustainably
- ・ユネスコ国内委員会発行のESD冊子、八名川学校紹介（ESDカレンダー）
- ・ESD世界大会（岡山・名古屋、11月）へのジャパンレポート
- ・学研、教育ジャーナル26年度5月号kj1405第2特集：ESD教育
- ・季刊誌BIOCITY59号「ESD特集」2014年夏号
- ・日立・環境研究誌(世界に向けて発信する日本のユネスコスクールの価値と成果)
- ・On the Frontlines of the International Approach to Education for Sustainable Development (ESD)日立・環境研究

八名川小学校

学校だより

第355号／平成26年度 6月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

子どもたちの頑張りをご覧ください



校長 手島 利夫

いよいよ6月1日（日）は、八名川小学校の運動会です。ご家庭・地域の協力をいただきながら練習を進めてまいりました。多くの皆様にご来校いただき、子どもたちのがんばる姿に大きな声援をいただけたらと思っております。

お天気も心配なさそうですね。むしろ、出番を待っている間の**熱中症対策や、紫外線対策が必要**かもしれません。小さな水筒の場合はお昼に補給していただくなど、ご配慮をお願いします。

また紫外線対策は、一律にこのようにと言えない面もありますので、お子さんに合わせた工夫をしてください。

子どもたちの健康を考え、皆様と力を合わせて素敵な運動会にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

「NHK・俳句さく咲く！」に6年生が出ます。

NHKのEテレ、「俳句さく咲く」の「俳句ムサシ」というコーナーに、2回にわたり、本校6年生が出演します。放送予定は、
第一回が6月22日（日）6：35～7：00、再6月25日（水）15：00～15：25、
第二回が7月27日（日）6：35～7：00、再7月30日（水）15：00～15：25、
だそうです。



2年前に引き続き、本校の俳句教育への取り組みが高く評価されてのことです。5月16日の撮影日には、アイドルの嗣永桃子（つぐながももこ…ももち）さんが来校され、6年生児童全員との俳句早づくり対決がありました。

また、7月分は各学級からの代表8名と「ももち」さんが芝生で遊んだり、芝刈りをしたりしながら「夏芝」を季語に俳句づくりに取り組みました。

本校の特色が花開く番組になりそうですね。ご期待ください。

八名川小学校 学校だより

第354号／平成26年度 5月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

はるがきた ○○○○○○○○ いちねんせい

校長 手島 利夫

入学式から3日目の4月9日（水）、前校長の小山正見先生が1年生の教室で俳句の指導をしてくださいました。「春が来た」と「1年生」の間の7文字に「きゅうしょくたのしみ」「ともだちできたよ」「せんせいやさしい」「がっこうだいすき」など、口々に言う言葉をとらえ、「いいねえ。すてきな俳句になっているよ」と、瞬く間に2クラスとも、学級全員の俳句ができてしまったのです。

児童の作品は廊下にも掲示されていますし、ホームページ4月15日付け「今日の様子」でもご覧いただけます。

小山先生には、職員向けの研修会も開いていただき、児童の作品をどのように評価したらいいのか、どのような点から助言したらいいのかなど、具体的な俳句指導の要点も教えていただきました。



また、4月17日には江東区温暖化対策課や、東京ガス東部営業所の方々が来校され、5年担任と協力授業の打ち合わせが行われました。

これは、江東区を中心とした「CO2削減こどもアクション」を進める際に、どのような授業展開にしたらよいのか、行政のねらいと企業の専門知識と授業の専門家が知恵を出し合っているところなのです。

この授業は5月13日（火）の5～6

校時に図書室で2クラス合同授業として行います。東京ガスや温暖化対策課の方々に、

- ・CO2が地球温暖化の原因になっていること（実験による確認・東京ガス）
- ・水素電池の仕組みの説明と、点灯実験（児童全員・東京ガス）、
- ・自分たちが温暖化対策としてどんなことに取り組むのか（意志決定・温暖化対策課）
- ・学年全員での共通する取り組みについての説明（温暖化対策課）

等の点からご協力いただくことになりました。

またこの授業の様子は、毎日新聞社を通じてユネスコや文部科学省の進めるESDの授業として全国に紹介される予定です。ご期待ください。

八名川小学校では子どもたちの学びに対して、様々な方々にかかわっていただき、今年度も豊かな教育活動を進めてまいります。ご支援をよろしくお願いいたします。

八名川小学校

学校だより

第353号／平成26年度 4月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260



受験学力からグローバル学力へ
模倣型学力から創造型学力へ

校長 手島 利夫

桜の花の下、61名の新一年生を迎え、児童数371名、12学級で平成26年度が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、次の4点を中心にユネスコスクールとして地域社会の未来の担い手を育みます。

元気なあいさつ八名川スマイル ・ **充実した授業で楽しい学校生活**
発見・感動・創造の俳句教育 ・ **保護者・地域・専門家との連携**

八名川小学校の子どもたちの成長を通して、この町に明るさや希望をお届けできるようにがんばりますので、本年度もよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちを取り巻く世界はグローバル化・情報化が進む中、激しく変化しております。世界の条件が変われば、物事の正解もどんどん変わります。そして、そのような時代に求められる人間像も大きく変わってきています。

知識を詰め込み、素早く取り出せる子が頭のいい子としてもてはやされた時代は過ぎ、課題を発見する力や物事を多面的にとらえる力、創造的なコミュニケーション能力を発揮して主体的に行動する力等が求められているのです。それは、知識・理解と総合的な学習とのハイブリッド化で進めることができるのです。

22世紀の学びの姿を求めて2月に来校された、文部科学省の前川喜平初等中等教育局長さんとも、「受験学力からグローバル学力へ、模倣型学力から創造型学力へ、学力観を変えていく必要がある」ことなど、八名川小の進めているESDという教育の重要性について話し合ったところです。11月にはユネスコのESD世界会議が日本で開催されます。八名川小の教育の充実が日本や世界の教育を22世紀に向けて大きく変え得ると考え、本年度の教育活動を進めてまいります。

こうとう学びスタンダードの充実を図るため、従来の少人数学習講師や学力強化講師などの講師が学びスタンダード強化講師（国語・算数・体育）に変わりました。また、用務主事の仕事が民間委託化され、コムネットシステムという会社が入ります。また給食調理も東都給食という会社になりました。校内環境の充実と、安全でおいしい給食の実現に取り組んでいただきますので、ご理解をお願いいたします。

八名川小学校

学校だより

第352号／平成25年度3月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

TEL 3631-2260

「今年度もご協力ありがとうございました！」

校長 手島 利夫

平成25年度は、『ユネスコスクールとして地域の明るい未来を育てます』とお約束したことを基に、研究・実践を重ねるとともに、成果の発信に努めてまいりました。

具体的には、「児童の学びに火をつける」をキーワードに、児童の主体的な学びにつながる指導方法を工夫したり、地域の伝統や文化、あるいは人とのふれ合いを通して、豊かな心を育んだり、俳句の指導を通して言語感覚を磨いたりしてきました。

また、様々な行事の中でも子どもたちのがんばる姿をご覧いただくこともできました。これもPTAを中心とした保護者の皆様や、町会や八名川ファミリーを中心とした地域の皆様方の温かなご理解と、ご支援・ご協力のおかげと、お礼申し上げます。

2月に行った児童へのアンケート調査では、下の表のような答えがありました。 (%)

	学習に進んで取り組む				俳句作りに進んで取り組む				学校が楽しい			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
低学年	28	60	11	1	62	28	8	1	60	33	6	1
高学年	28	52	16	4	39	41	17	4	53	37	7	3
	地域の行事に参加した				外部の大会に参加した				地域の人たちと挨拶できた			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
低学年	25	36	24	15	19	20	19	43	39	47	13	1
高学年	26	31	27	14	17	27	20	36	29	54	14	2

A・・・よくできた B・・・まあまあできた C・・・あまり D・・・いいえ

調査時期やその日の状況により、「D」評価を0にできないのは残念ですが、どの子にとっても学校が楽しいところであり、学びたくなる授業があり、いい仲間のいるところにしていきたいものです。

2月14日に開催された学校評議員会では、上記の調査結果や今年度の学校の取り組み全般の説明を踏まえ、「ESD教育の素晴らしさ、先生方のご尽力がよくわかります。それが子どもたちの姿をどのように成長させているのか、より具体的に保護者に伝えていただくと信頼関係が一層深まるように思います」というご助言もいただきました。

私ども教職員一同、心を引き締め、教育活動の一層の充実を図り、どの子にとっても楽しく、誇りをもって学べる学校づくりを進めてまいります。



八名川小学校 学校だより

第351号／平成25年度2月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

<http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/>

TEL 3631-2260

「八名川まつり大成功！」

校長 手島 利夫

先日の八名川まつりには多くのご家族の皆様、そして、幼稚園・保育園の年長さんを含め地域の皆様方のご来校をいただき、ありがとうございました。おかげさまで大勢のお客様に向かって、子ども達が日頃の学習成果を活かし、有意義な発表に楽しく取り組むことができました。



参観された滋賀県彦根市教育委員会の先生は、「6年生の発表を聞いて、子ども一人ひとりの課題意識の高さと、その課題が世界に開かれていることに感動しました。自分の夢や将来を見据え、自分とのかかわりを踏まえて学習を展開しているからこのような素晴らしい子どもが育っているのだと思いました。全校の取り組みを見て、1年生からの学習の積み上げが、6年生一人ひとりの姿に結実していくことを学びました。」と絶賛してくださいました。このような子ども達の姿を見たり、外部の方々のお声に接したりする時、心から子どもたちを誇らしく思います。

2月8日（土）は、本年度最後の学校公開日です。この一年間でたくましく成長されたお子様の姿を皆さんでご覧ください。そして、気になる課題があれば、お声かけください。皆様と力を合わせて改善や解決をめざして取り組んでまいります。

また、この日の午後には、児童の下校後に『ESDパワーアップ交流会』という、ユネスコスクール・八名川小学校を中心としたESD実践発表・交流会が開かれます。ぜひおいでください。保護者や地域の皆様に、八名川小学校の目指す教育の姿や、職員の取り組む姿を知ってほしいのです。

この会には北海道から九州まで全国各地の教育研究者や校長先生、先生方、関係機関の方々もいらっしゃいます。これはありがたいのですが、それでも、本校の保護者や地域の皆様に八名川小の目指す教育を理解していただくのが一番重要だと思っております。

